



治水 公共交通の役割 (市民クラブ)

質問 河川の水位上昇によって発生する逆流現象(バックウォーター)の対策は。

回答 河川からの逆流現象を防ぐため、樋管に水門を設置しているが、水門を閉じたために雨水が河川へ流れ込むことができず、低い土地や道路が冠水することもあり得る。今後、樋管に流れ込む排水路の状況を調査した上で、当該地域へ集中する雨水を分散する方法を検討し、適切な対策を講じていきたい。



質問 鉄道交通の充実に向

回答 県は、平成30年度からの3年間で、県内の鉄道路線の利用促進に取り組みることとしており、県と沿線市町村、鉄道事業者が連携して各路線の課題点を明確化し、必要な利用促進策を研究していく。本年度は、JR上越線、JR信越本線、上信線について進められている。本市も積極的に参画し、鉄道の利便性向上と利用促進に取り組みしていく。



東京オリンピック前後の本市のイベント日程 白石 隆夫 (新風会)

質問 東京オリンピックの影響で高崎まつり・高崎山車まつりの日程を変更した理由は。また、来年は市制120周年で全38台の山車が参加予定となるが、集結場所などの計画内容は。

回答 従来どおりの警備体制が確保できない懸念が高まったため、各実行委員会、警察などの関係機関と協議

し、日程変更を決定した。来年は全38台の山車の出場を計画しているが現時点で詳細は決定していない。集結場所や交通規制の検討が必要となるため早い段階で関係機関と協議を進めたい。

質問 本市の全国学力・学習状況調査の結果は。

回答 全ての教科で県、国の平均を上回った。好成績



消防団員による散水

の要因として、学力アップ大作戦におけるボランティアの献身的な取り組みや、A.L.T.の全校配置による効果が極めて大きい。意識調



立地適正化計画 高崎まつりなどの暑さ対策 (市民クラブ)

質問 国が創設した立地適正化計画とは。

回答 住みやすい生活環境や持続可能な都市経営を確保するため、平成26年に都市再生特別措置法の改正により創設した制度である。具体的には、都市計画区域内の一定のエリアに、居住誘導区域と都市機能誘導区域を設定、住居や医療、福祉、商業などの生活利便施設を誘導し、高齢者が公共



不登校対策 三島久美子 (無所属)

質問 不登校児童・生徒の選択肢としてフリースクールがあるが本市との連携は。

回答 不登校児童・生徒の支援では、教育委員会、学校、民間団体などの連携が重要と考えており、フリースクールへの通所状況や支援内容の情報交換を行っている。適応指導教室の充実を図るとともに、不登校児童・生徒数の推移やフリースクールの実情を見ながら、フリースクールとの連携を研究していく。

質問 旧オリオン座を含む

中央銀座通りの活性化策は。
回答 平成29年に再建した高崎レトロアベニューを中心に、市内の若手経営者に飲食店の出店を促すとともに、ぐるりんタクシーを運行させ、にぎわいを波及させている。また、まちづくり協議会を組織し、さまざまなイベントを行っている。イベントが一過性にならず定着できるように支援するとともに、旧オリオン座の動向を注視しながら、さらなる活性化策を検討していく。



本市におけるSDGs 子どものインフルエンザ予防接種 新保 克佳 (公明党)

質問 持続可能な開発目標として誰もが取り組む事ができるSDGsの認識は。

回答 SDGsは17項目から成る国際目標で、国を挙げて取り組みを推進している。本市が実施している高齢者や障害者に対する支援、男女共同参画などあらゆる施策がSDGsの理念に合致すると認識している。

質問 SDGsの目標に該当する民生委員・児童委員に対し、若者の関心が高いため、学生民生委員を設置する考えは。

回答 広報で特集を組むことで、民生委員の活動への理解を広げ、活動しやすい環境を作っている。今後、若い世代に向けた取り組みも研究していきたい。

質問 高齢者と同様に子どものインフルエンザ予防接種への助成の考えは。

回答 毎年多額の予算を伴うことになるため、費用対効果も含めて、必要性や緊急性なども慎重に検討する必要がある。国や他自治体の動向を注視したい。



耕作放棄地 中島輝男 (市民クラブ)

質問 農地の維持が困難な地域がある中、市としての農業振興の進め方は。

回答 市は6次産業化の推進やブランド力向上を支援する農業者新規創造活動補助金を創設し、生産者の意向向上を図る一方、販路拡大のためシンガポールに海外輸出の拠点となる現地法人を設立した。さらに、ユーチューブを活用した農チ

ユーチューブ 高崎を公開し農業をPRするなど、さまざまな施策を組み合わせて着実な取り組みを進めたい。

質問 お店ぐるりんタクシーの利用料を無料にした経緯は。また、民業を圧迫しないための配慮は。

回答 運行開始から3カ月の利用者数は増加傾向であり大変好評である。車椅子でも乗降でき、利便性を最優先に無料運行している。また、警察署や運輸支局との協議により、運行ルート上の安全性を確認し、既存のバス路線に重複しないルートとするなどバスの会社等にも配慮した上で決定した。

請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 日本政府に核兵器禁止条約への賛同と推進を求める意見書の採択について

決算議案への討論

賛成

第6次総合計画策定による施策を実施 (新風会)

本市の経済は、さまざまなビジネス活性化施策の効果により、緩やかな回復基調が続く。市税収入においては、前年度を上回る税収を確保している。今後も第6次総合計画に基づき、限られた財源を有効かつ効率的に執行することを期待する。

新しい高崎に向けた各種施策の実現 (市民クラブ)

商業・工業・農業などの施策に対し積極的かつ意欲的に取り組み、多方面にわたる各種施策が功を奏し、市税収入の増加につながった。また、市有施設の長寿命化への方針も評価でき、今後も計画的な取り組みを要望する。

反対

生活困窮者への支援の強化 (日本共産党)

国保加入者は、非正規労働者や年金者、無職者などが多く、保険証の返還により最低限の医療も受けられない苛酷な状況である。基金が基準以上であれば、国保税の引き下げを決定するよう強く要望する。

同意した人事案件

- 教育委員会教育長 飯野 眞幸氏
- 教育委員会委員 重田 誠氏
- 高崎市等公平委員会委員 長井 友之氏
- 固定資産評価審査委員会委員 坂本 正樹氏
- 人権擁護委員候補者 山口 美千世氏
- 人権擁護委員候補者 藤澤 秋子氏
- 人権擁護委員候補者 上和田 照吾氏